

# 天草家保通信

お問い合わせ

熊本県天草家畜保健衛生所

TEL 0969-22-3668 FAX 0969-24-4393

HP) <http://www.pref.kumamoto.jp/construction/section/kaho/index.htm>

E-mail) amakusakaho@pref.kumamoto.lg.jp

「高病原性鳥インフルエンザ特別防疫対策期間」(H19.11月1日～H20.2月29日)

「牛異常産ワクチン接種の申し込みがはじまりました！」

これから暖かくなり、過ごしやすい季節になりますが、これと共に異常産の原因となるウイルスも動き始めてきます。毎年春季に接種を推進している予防ワクチンには、**牛異常産三種混合ワクチン(アカバネ病、チュウザン病、アイノウイルス感染症)**と、**牛流行熱・イバラキ病混合ワクチン**があります。これらの病気の原因のウイルスは、アルボウイルスと呼ばれ、吸血昆虫(ヌカカ等)を媒介して伝染します。よって、吸血昆虫が発生する前である、4月～5月中に牛異常産ワクチンを接種し、ウイルスによる異常産の被害を未然に予防し、経営安定に努めましょう。

疾病名	症状	対応ワクチン
アカバネ病	流早死産、四肢の関節湾曲 および大脳欠損をおこす	牛異常産三種 混合ワクチン
チュウザン病	虚弱、起立不能、神経症状、 大脳および小脳欠損をおこす	牛異常産三種 混合ワクチン
アイノウイルス 感染症	流早産、四肢・脊椎の湾曲、 小脳形成不全をおこす	牛異常産三種 混合ワクチン
牛流行熱	呼吸器症状が主要な症状 死流産を起こすことがある	牛流行熱・イバラキ病 混合ワクチン
イバラキ病	水、食べ物が飲み込めなくなる 死流産を起こすことがある	牛流行熱・イバラキ病 混合ワクチン

## 牛異常産ワクチン

### なぜ接種するの？

地域でワクチン接種を推進し、免疫力を持っている牛が一定割合以上いると、病原ウイルスの増殖・拡散の抑止となり、免疫力の落ちた牛も感染しにくくなります。**地域一丸**となってワクチンを接種して、病原体に対する免疫力を持つておくことが大切です。

### どの牛に接種すればいいの？

3月～5月の期間中、平成20年の秋までに種付けをする予定の繁殖用雌牛を対象に、初めて接種する牛、昨年接種していない牛は4週間隔で2回接種し、昨年接種している牛は年1回の追加接種で十分効果があります。

ワクチン接種をしておけば、絶対に病気にかからないわけではありません。また、ワクチン接種をしないしていると、その牛の免疫力は次第に下がってきます。

### どこに申し込めばいいの？

地域によって市役所、農協と申込先が異なります。不明な場合はお近くの市役所、農協または家畜保健衛生所に問い合わせ下さい。

旧本渡市	JA本渡五和	佐伊津	JAあまくさ佐伊津支所
上天草市	市役所農林課	牛深	JAあまくさ牛深統括支所
有明町	町産業振興課	倉岳町	町経済課
栖本町	JAあまくさ栖本統括支所	新和町	町産業振興課
五和町	JA本渡五和	天草町	JAあまくさ天草統括支所
河浦町	町農林課	苓北町	JAれいほく

## 上天草で鶏飼養技術検討会を開催

最近の養鶏をとりまく状況は、高病原性鳥インフルエンザをはじめとして鶏卵・鶏肉の安全性への消費者の関心が日に日に高まっています。そこで飼養管理技術向上のため、上天草市の養鶏家を対象に鶏飼養に関する勉強会を開催します。鶏を飼養されている方は是非ご参加下さい。

**【日時】平成20年3月6日(木)16時～17時30分**

**【場所】上天草市役所大矢野支庁会議室**

**【内容】鶏の疾病、鶏卵の生産性向上など**